



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

			1月22日	1月23日	1月24日	1月25日	1月26日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2040	3.2390	3.1420	3.1486	3.1480	-0.0006
	BRL/JPY	Spot	34.64	34.04	34.72	34.75	34.52	-0.23
	EUR/USD	Spot	1.2257	1.2296	1.2402	1.2391	1.2421	+0.0030
	USD/JPY	Spot	110.99	110.31	109.05	109.41	108.70	-0.71
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.711	6.685	6.653	休場	6.624	-0.029
	Future	1Year(p.a.)	6.989	6.975	6.884	休場	6.862	-0.022
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.427	2.445	2.468	休場	2.485	+0.017
	USD	1Year(p.a.)	2.686	2.726	2.747	休場	2.750	+0.003
株式	Bovespa指数		81,675.44	80,678.38	83,680.00	休場	85,530.81	+1,850.81
CDS	CDS Brazil 5y		149.60	154.49	147.08	143.50	142.80	-0.70
商品	CRB指数		196.217	196.939	199.509	199.345	200.520	+1.175

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルはルラ元大統領の第2審の結果を受け、一時昨年10月上旬以来となる3.12台へ上昇。
- 週初のレアルは3.1910で寄り付いた。週前半はルラ元大統領の第2審に対する警戒感からレアルは軟調に推移し、週間安値3.2440まで下落。その後、24日水曜日に第2審で同氏に対する有罪判決が支持されたことが好感されると国外のリスクオンムードもレアルのサポート材料となる中、週後半にかけて堅調な動きとなり、祝日明け26日の朝方には週間高値となる3.1220を付け、3.1480で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2018年は2.70%に据え置かれ、2019年は2.80%から2.99%に上方修正された。インフレ率予想は2018年が3.95%、2019年が4.25%でそれぞれ据え置き。2018年末の為替レートは3.35から3.34へレアル高方向に修正され、2019年は3.40で据え置かれた。
- 23日、1月の伯インフレ率(IPCA-15)が発表された。前年比+3.02%と前月の+2.94%から上昇し、伯中銀・財務省が設定する目標レンジ(3.0-6.0%)の下限を7か月振りに上回った。
- 24日、ルラ元大統領の汚職容疑に関する第2審が行われた。結果は市場予想通り3名の判事全員が第1審の有罪判決を支持し、禁固刑を第1審の9年6か月から12年1か月に延長。結果を受けて同氏が今年の大統領選挙に出馬する可能性が低下した。伯政府の財政問題にとってプラスとの見方からブラジル資産は買われ、レアルは大幅に上昇。ボベスパ指数は過去最高値を更新し、伯国債の5年物CDSスプレッドは週後半に142bps台へ低下した。

3. 今週のチャート&ハイライト



ルラ元大統領の第2審は有罪判決を支持

今週24日に行われたルラ元大統領の第2審では、第1審の有罪判決が支持された。これを好感してブラジル資産が買われたが、ルラ氏の有罪が確定していない点には注意を要する。同氏は高等裁判所、最高裁判所へ控訴する可能性があり、裁判所による控訴の可否判断には2-3週間を要する見込み。次期大統領選挙の立候補締切は8月15日だが、上記手続きの進捗次第では同氏が大統領選に立候補できる可能性も残されている。控訴が認められた場合、引き続き裁判を巡る動向が市場に混乱をもたらす可能性があり、これらのリスクに対する警戒感がレアル売りに繋がる動きには注意を要する。



4. 来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.10－3.20

来週のレアルは横這いの動きを予想する。今週、ルラ元大統領の第2審を終えたことでレアルは大幅上昇。年初から主要通貨が対ドルで買われる中、第2審の結果に対する警戒感から他通貨と比較してレアル買いの動きは出遅れていたが、今週の動きを受けて他通貨と同程度の上昇率に達した。引き続き国外のリスクオンムードがレアルをサポートすると見られるが、徐々に上値は重くなるが見込まれる。
米国サイドでは1月30-31日にFOMCが開催される。イエレンFRB議長最後となる今回の会合は声明文の発表のみで、政策変更の可能性は低いと見られている。

5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	登録雇用創出合計	-395000	-328539	-12292
ブラジル	海外直接投資	\$10000m	\$5407m	\$5021m
ブラジル	経常収支	-\$4200m	-\$4327m	-\$2388m
ブラジル	税収	139032m	137842m	115089m
米	GDP(年率/前期比)	3.0%	2.6%	3.2%
米	個人消費	3.7%	3.8%	2.2%
米	CPI(前期比)	1.9%	1.9%	1.3%
米	耐久財受注(前月比)	0.8%	2.9%	1.3%

6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	1/29	融資残高	Dec	--	3064b
ブラジル	1/29	中央政府財政収支	Dec	-25.0b	1.3b
ブラジル	1/30	FGVインフIGPM(前月比)	Jan	0.81%	0.89%
ブラジル	1/30	PPI 製造業(前月比)	Dec	--	1.62%
ブラジル	1/30	CNI設備稼働率(季調済)	Dec	--	78.3%
ブラジル	1/31	全国失業率	Dec	11.9%	12.0%
ブラジル	1/31	Nominal Budget Balance	Dec	-55.4b	-30.0b
ブラジル	1/31	基礎的財政収支	Dec	-35.4b	-0.9b
ブラジル	1/31	純債務対GDP比	Dec	51.7%	51.1%
米	1/31	ADP雇用統計	Jan	185k	250k
米	1/31	FOMC政策金利(上限)	Jan/31	1.50%	1.50%
ブラジル	2/1	鉱工業生産(前月比)	Dec	1.4%	0.2%
ブラジル	2/1	貿易収支(月次)	Jan	\$2900m	\$4998m
米	2/2	非農業部門雇用者数変化	Jan	180k	148k
米	2/2	失業率	Jan	4.1%	4.1%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。